

障害があってもなくてもともに生きられる社会をめざして

地域とともに No.15

発行日 平成20年5月9日(金)
発行 社会福祉法人 AJU 自立の家
専務理事 山田昭義
施設準備室 鬼頭義徳、小山秀隆
名古屋市昭和区恵方町2-15
TEL 841-5554 FAX 841-2221
info@aju-cil.com

風薫る5月 さわやかな季節となりました。地域とともに第15号を数えることになりました。とてもうれしいお知らせをできることを感謝します。「福祉施設を考える会」ができて、説明会を開催していただきました。多機能型福祉施設が必要だという声が精神の障害当事者はもとより、家族、地域の方々からたくさん出されました。もっと多くのみなさまのご理解とご支援につながるよう、この「地域とともに」の紙面での報告やお知らせをさせていただき、バザー・セミナーなどを開催していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。



多機能型福祉施設について

地域住民による説明会が開催されました

去る3月25日、生涯学習センターで、地域住民の組織「福祉施設を考える会」主催の新施設説明会が開催され、名古屋市障害支援課とAJU自立の家も参加しました。

説明会は、7時には視聴覚室が満員となり、施設に反対する人も施設は必要とする人たちも同じ土俵で、熱い議論が続きました。

主催者からの趣旨説明につづいて名古屋市とAJUの方から施設の概要説明があり、その後賛成反対それぞれの立場で熱い議論になりました。

話し合いは、必ずしもかみ合いませんでした。障害当事者の参加も多く、彼らからは病気や障害について切実な声が寄せられ、参加者から多くの共鳴を得ました。また、新聞を見て参加したという精神障害を持つ家族の方は、完治は難しいが薬によって安定しており、「働いてほしい。地域で生活できるようにしたい。」と訴えられたことは印象的でした。

反対と言われた人たちは、今回の主催者について様々な角度から質問があり、「精神障害は何を起すか分からず怖い」「文教地区で子どもたちは危険を回避することが難しい」等が寄せられました。

一方、地域に住む障害当事者からは「私は1年前なら反対した。しかし昨年10月突然発病し、施設の仲間や作業所に通う事でとても助けられた。だからいまは賛成です。」との発言。今の混迷し厳しい社会では、精神病は他人事ではなく、明日はわが身である事を実感させられ、精神障害が特別な存在ではないと参加した人たちは大きくうなずく場面もありました。

今回福祉施設を考える会が主催してくれましたが、このような真摯な話し合いの場が今後も多く開催され、地域の人たちの福祉への理解が進むことを心から願ひました。

最後に名古屋市からは、「障害があってもなくても、共に生きる社会をめざすという高い理念を掲げながら、多機能型施設についても整備をしていきたい」と力強く語られて2時間に及ぶ説明会は無事終わりました。

せつめいかいさんかしゃ こえ
説明会参加者の声

せつめいかい けいぞく
説明会の継続がポイントでは？

しょうえいがくく
松栄学区 S・H

ふくしせつ かんが かい しゅさい せつめいかい さんか
福祉施設を考^{かんが}える会が主催した説明会に参加しました。

まえ せつめいかい くら さんかしゃ れいせい なごやし じりつ いえ せつめい き
前の説明会に比べると、参加者は冷静に名古屋市、AJU自立の家の説明を聞いていました。今回は
施設の建設概要が映像で説明されるなど、説明する方の配慮を感じました。

ふくしせつ たいしんきょうど おお きゅうすい ちよすい き きんりん ひなんばしょ
福祉施設は耐震強度が大きく、給^{きゅうすい}水のため貯水もされると聞き、近隣に避難場所ができることは
よいことだと思いました。

いけん こうかん さんせい いけん きせつ しせつしゅうへん かた しせつ うんえいしや ぐたいてき じじつ
意見の交換になったとき、賛成意見は、既設の施設周^{しせつしゅうへん}辺の方や施設の運営者が具体的な事実をあ
げて話されるなど具体性があり信用できると思いました。

はんたいいけん かんじょう さべつはつげん れんぱつ しょうがいしや あたま きけん そんざい はつげん
しかし、反対意見は、感情に差別発言を連発したり、障害者を頭^{あたま}から危険な存在とみなして発言
するなど、人権感覚を疑^{うたが}うものでした。

せつめいかい うんえい さんせい はんたい ひょうどうはつげん こうへい うんえい はんたい かた
説明会の運営は、賛成・反対を平等発言させるなど、公平な運営がされていましたが、反対の方の
ひどい差別発言に怒った障害者^{しょうがいしや}がその人の腕を掴むという事もありました。でも、全体としてはス
ムーズな運営だったと思います。

せつめいかい こうはん きょうこう はんたい ひと くちょう いちぶ ひと のぞ なんか かん
説明会の後半には、強^{きょうこう}硬に反対していた人の口調も、一部の人を除けば軟化したように感じまし
た。このような説明会を繰り返し開催することで『多機能型福祉施設』への理解が深まるのではない
でしょうか。

ちいきふくし かいさい
地域福祉セミナーを開催します

だい かい しょうがいしや い ちいき
第2回 障害者とともに生きる地域づくり

とき へいせい ねん がつ にち ど 13:30~16:30
平成20年5月17日(土) 13:30~16:30

ところ しょうわくざいたく しょうわくしやかいふくしきょうぎかい けんしゅうしつ
昭^{しょうわく}和区在宅サービスセンター(昭^{しょうわく}和区社会福祉協議会)研修室(2F)

きちようこうえん
基調講演 「認知症から学ぶ-障害者とともに生きる地域づくり」

わかまつとしあきし にほんふくしだいがくきょうじゅ
若松利昭氏(日本福祉大学教授)

たなかけんいちし かりやびょういん じむちよう
シンポジウム 田中研一氏(刈谷病院 事務長)

しみずあきこし しょうわく れんらくきょうぎかいかいちょう
清水昭子氏(昭^{しょうわく}和区ボランティア連絡協議会会長)

つちだまさひこし くさ だいひょう
土田正彦氏(草のネット代表)

ふくおか まことし なごや しょうちよう
福岡 誠氏(名古屋マック所長)

あおきくにこし しんあい さと なごや じぎょうしよ しせつちよう
青木邦子氏(親愛の里 名古屋事業所 施設長)

わかまつとしあきし にほんふくしだいがくきょうじゅ
コーディネーター 若松利昭氏(日本福祉大学教授)

てい いん
定員 60人

さんかひ えん しりょうだい
参加費 200円(資料代)

しゅ さい ふくしせつ かんが かい あいちけんじゅうどうしょうがいしやだんたいれんらくきょうぎかい じりつ いえ
主催 福祉施設を考^{かんが}える会、愛知県重度障害者団体連絡協議会、AJU自立の家

きよう さい しょうわくしやかいふくしきょうぎかい
共催 昭^{しょうわく}和区社会福祉協議会

こう えん なごやし なごやしやかいふくしきょうぎかい
後援 名古屋市、名古屋市社会福祉協議会



お知らせ

ツィターコンサートのご案内 あんない 第三の男 登場! Zither だいさん おとこ とうじょう

来る、5月11日に第三の男で有名なツィターの演奏会がカトリック恵方町教会で開催されます。
ツィターが奏でる魅惑の音楽に安らぎのひとつをお過ごしください。

演奏 えんそう 河野保人 こうのやすひと ツィターコンサート

第一部 だいいちぶ 第三の男、菩提樹の木陰にて ほか 他

第二部 だいにぶ アダジェット(麗しのローゼンハイム)、天使のひとり言 ほか 他



日時 にちじ 2008年5月11日(日)

13:30開場 14:00開演 ~ 15:45終演

場所 ばしょ カトリック恵方町教会 名古屋市昭和区恵方町2-15

入場料金 にゅうじょうりょうきん 3,000円(先着10名招待券あり、詳しくはお問い合わせ下さい)

チケットお申し込み・お問い合わせ先

AJU自立の家後援会 じりつ いえこうえんかい TEL 052-841-5554

地域に愛されて23年 ~この街とともに、この街が好きです~

第23回わだちまつり だい かい

開催日時 かいさいにちじ 5月25日(日)午前11時~午後2時まで

場所 ばしょ AJU自立の家サマリアハウス・カトリック恵方町教会

食べ物/カレーライス、うどん、五平餅、焼き鶏などなど。

飲み物/コーヒー、ジュース、ワイン、ビールなどなど。

催し物/和太鼓、車いす体験、ビンゴゲーム(豪華景品)などなど。



AJU車いすセンター くるま いつでもご連絡ください れんらく

必要な人に、必要な期間、車いすなどを無料で貸出しています。

TEL 052-841-8841

在宅で歩行が困難になった障害者や高齢の方、また、骨折等で福祉用具が必要な方に無料貸し出しを行っています。また、介護保険や身障制度など各種制度についてもご相談ください。

AJU車いすセンター 昭和区恵方町2-5 TEL 052-841-8841

